

羽村大橋に関する今年度工事及び今後の進め方の説明における質問と回答（要旨）

開催日及び場所

令和6年1月24日（水） 清流会館

令和6年1月26日（金） 折立会館

令和6年1月27日（土） 上水会館

質問と回答（順不同）

Q1 事業全体の流れはどのようになるのか。

A1 まずは既設橋の補修工事を行い、その後、新設する上流橋の整備に入ることを想定しています。

Q2 事業の着手時期や概ねのスケジュール感はどうなるのか。

A2 既設橋の補修工事は関係機関と調整を行った後、可能な限り早い時期に着手致します。なお、橋長が長いことに加えて河川上での作業も必要となることから、数年間は要する見込みです。その後、新設する上流橋を概ね10年程度で整備する予定です。

Q3 前回の事業説明会（平成27年度）で提示していた着手時期より遅れた原因は何か。

A3 多岐にわたる関係者との調整や橋梁構造の検討に想定よりも時間を要したためです。

Q4 羽村大橋東詰交差点は立体交差となる都市計画もあるが、これは実施するのか。

A4 今回の事業においては、羽村大橋東詰交差点で奥多摩街道と平面交差する予定としております。

Q5 羽村大橋東詰交差点を起点とした羽村大橋上の交通渋滞を解消させるため、新設橋を羽村市側陸橋部のみ先行整備して運用させる等の検討はしていないのか。

A5 頂いたご意見を踏まえ、検討してまいります。

Q6 あきる野市道548号線から都道への右左折が容易になる検討をして欲しい。

A6 頂いたご意見を踏まえ、交通管理者と相談してまいります。

Q7 令和5年度から実施する工事では住宅地の中を工事車両が通行する計画としているが、通学路に位置している箇所もあるため、安全性に配慮頂きたい。

A7 工事車両の搬出入時間の調整や、交差点や視認性が悪い箇所に交通誘導員を配置するなどして、安全性を十分考慮して工事を行ってまいります。

Q8 新設する上流橋の整備について、今後も情報を提供して頂きたい。

A8 着手する際には、改めて説明の場を設けさせていただきます。